

安全データシート
ルテニウム

1. 化学品および会社情報

製品の名称：	ルテニウム
会社名：	アサヒメタルファイン株式会社
住所：	東京都千代田区丸の内 1 - 7 - 1 2
電話番号：	0 3 - 6 2 7 0 - 1 8 2 6
緊急時の電話番号：	0 2 9 7 - 2 0 - 9 0 3 2
F A X 番号：	0 3 - 6 2 7 0 - 1 8 1 3

2. 危険有害性の要約

化学品の G H S 分類	データ不足により分類できない
G H S ラベル要素	該当なし

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名または一般名	ルテニウム (Ruthenium)
化学式：	Ru
C A S 番号	7440-18-8
濃度または濃度範囲	99.9%以上

4. 応急措置

吸入した場合：

- ・新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・気分が悪い時は、医師の診察、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合：

- ・多量の水と石鹸で洗うこと。
- ・皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診察、手当てを受けること。

眼に入った場合：

- ・水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・眼の刺激が持続する場合は、医師の診察、手当てを受けること。

飲み込んだ場合：

- ・口をすすぐこと。
- ・気分が悪い時は、医師の診察、手当てを受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	周辺の状況に応じて、適切な消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	情報なし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び予防措置：

- ・回収が終わるまで、十分な換気を行う。
- ・適切な保護具を着用する。
- ・風上から作業する。

環境に対する注意事項：

- ・河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：

- ・掃き集めて、容器に回収する。
- ・漏洩物の粉塵が飛散する場合は水を散布し、飛散を抑える。
- ・廃棄に関しては「13. 廃棄上の注意」を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項： 吸入又は飲み込まないこと。
保護眼鏡等で眼を保護すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。

接触回避： 「10. 安定性及び反応性」参照

衛生対策 取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

保管

安全な保管条件：

- ・保管条件： 直射日光、高温を避けて保管する。
- ・容器包装材料： 情報なし

混触危険物質： 「10. 安定性及び反応性」を参照

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度：

労働安全衛生法管理濃度	日本産業衛生学会		ACGIH TLV-TWA		
3mg/m ³ (土石、岩石、鉱物、金属 又は炭素の粉塵として)	2mg/m ³ (第3種粉塵 吸入性粉塵として)	8mg/m ³ (第3種粉塵 総粉塵として)	設定なし (Ru)	3mg/m ³ (respirable particles)	10mg/m ³ (inhalable particles)

設備対策：この製品を加工し、粉じん、ヒューム等が発生する作業場には洗眼器、安全シャワー及び換気装置を設置すること。

保護具

- 呼吸器の保護具： 適切な呼吸保護具を着用すること。
- 手の保護具： 適切な保護手袋を着用すること。
- 眼の保護具： 適切な眼、顔面用の保護具を着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具： 適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：	固体
色：	銀白色～灰黒色
臭い：	無臭
融点：	2,450℃
沸点：	3,700℃
可燃性：	可燃性固体の区分外
爆発限界および爆発上限界／可燃限界：	情報なし
引火点：	情報なし
自然発火点：	情報なし
分解温度：	情報なし
pH：	情報なし
動粘：	情報なし

溶解度：	不溶（水）
n-オクタノール／水分配係数（log 値）：	情報なし
蒸気圧：	情報なし
密度及び／又は相対密度：	12.30 g/cm ³
相対ガス密度：	情報なし
粒子特性：	情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性・化学的安定性：	通常的环境下では安定
危険有害反応可能性：	強酸化剤と反応し有害なルテニウム酸化物を生成する可能性がある。 微粉末は、拡散した場合、爆発可能性のある粉じん-空気混合物を形成する可能性がある。
避けるべき条件：	高温、直射日光、火花、静電気、スパーク、混触危険物質との接触
混触危険物質：	強酸化剤
危険有害な分解生成物：	情報なし

11. 有害性情報

情報なし

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性）：	情報なし
水生環境有害性 長期（慢性）：	情報なし
生体毒性：	情報なし
残留性・分解性：	情報なし
生体蓄積性：	情報なし
土壌中の移動性：	情報なし
オゾン層への有害性：	情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装：	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。

14. 輸送上の注意

国外規制	
海上規制情報	非危険物
航空規制情報	非危険物
国内規制	
陸上規制情報	非危険物
海上規制情報	非危険物
航空規制情報	非危険物
特別の安全対策	輸送に関しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れの無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。

15. 適用法令

労働安全衛生法：	該当しない
化学物質排出把握管理促進法：	該当しない
毒物及び劇物取締法：	該当しない

16. その他の情報

参考文献 JIS Z 7252 (2025)
JIS Z 7253 (2025)
職場の安全サイト (厚生労働省)
(独) 製品評価技術基盤機構 (NITE)
許容濃度等の勧告 (2025 年度) (日本産業衛生学会)
ACGIH TLV&BEIs (2021)
化学大辞典

本情報は製品に対して品質保証や安全保証をするものではなく、製品の危険、有害性に関する情報を提供するものです。

記載のデータや評価に関しては必ずしも十分ではありません。すべての化学製品には未知の危険有害性があるため、取り扱いには十分ご注意ください。

注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合は十分な安全対策を実施の上でご利用ください。